

# 2002年度 事業計画書

## 特定非営利活動法人 アジア日本相互交流センター

### 1 事業実施の方針

アジアで社会的に弱い立場の人々、特に、経済的に貧しく、最低限の生活を維持するための収入を得られない人々や、就学の機会が与えられない子供たちに対して、生活向上、教育、福祉、医療に関する支援活動を行い、これらの人々の自立支援を進めるとともに、アジアの人達との相互理解を促進するために、今年以下に以下の点に留意して事業活動を展開する。

- ・フィリピンで社会的に弱い立場の人々の自立および生命の維持に役立つ支援活動を行う。
- ・フィリピンおよびアジアで厳しい生活環境にある人たちの実状、児童労働、貧困などの課題について、日本人々と共有し、同じ時代を生きる者として具体的な行動に移す方法を考えるきっかけとする。

### 2 事務局の運営

#### (1) 日本事務局

**実施内容** 経済的に厳しい生活環境にあるフィリピンの人たちや子ども達の自立支援と課題の共有のため、日本事務局にてプロジェクト全般に関する活動を行う。会員・一般の方からの問い合わせ対応、現地事業や日本の事務作業の書類・領収書のまとめ、学生の訪問受入れや学校訪問などの開発教育関連活動、フェアトレード関連業務、各種イベントの準備と連絡、助成金関連事務作業、会報の編集・発送などを行い、これらの活動を通して法人の活動の充実・発展を図る。

**実施予定場所** NPO プラザなごや、国際センター、他

**実施形態** 事務局スタッフ、代表理事、事務局ボランティア、フェアトレードボランティア、翻訳ボランティア、イベントボランティアが協力して実施

**従業者の予定人数** 有給スタッフ1名、理事3名、無給ボランティア50名程度

#### (2) マニラ事務所の開設

**実施内容** マニラ事務局にて、パヤタス・サンイシロプロジェクト全般に関する活動を行う。プロジェクトの経理や報告・領収書の整理、フェアトレード活動、問い合わせへの対応など現地活動の充実・発展を図る。事務の迅速化や現地コーディネートの向上のため、現地スタッフを1名増員する。

**実施予定場所** フィリピン共和国、ケソン市の事務所

**実施形態** マニラ事務局スタッフ、マニラ事務局ボランティアが協力して実施

**従業者予定人数** 有給スタッフ2名、無償ボランティア10名

### 3 事業の実施に関する事項

#### (1) 特定非営利活動に係る事業

##### ミンダナオにおける支援活動

ミンダナオ島の南部にあるジェネラルサントス市は人口 32 万人程の地方都市で、イスラム系武装勢力の影響を受ける地区にあり、約半数が貧困層だと言われている。一般に子沢山で、子どもが働くことで何とか生計を維持しているが、子ども達が十分な教育を受けないまま成人し、次の世代は更に貧困になるという悪循環にある。

同市において、貧困や民族を理由に社会から阻害されている家庭の子ども達を対象に、正当な教育を受けられるよう、里親(通学)支援と給食支援の二つの支援事業を行う。

#### 1) 里親事業(通学支援事業)

##### 事業内容

日本の支援者に精神的な里親として参加して貰い、貧困家庭の子どもが学校に通えるように、学費、学用品、通学用衣類等の通学支援を行う。また、子どもの家族に対しても、衛生や栄養改善を目的とする生活指導を行う他、希望者には社会福祉・開発省(DSWD)が実施する職業訓練プログラムに参加を促す。

実施予定日時 通年

実施予定場所 フィリピン国南コタバト州ジェネラルサントス市およびその周辺

実施形態 現地福祉法人 Love and Life Inc.(以下、L&L)に事業委託して実施。

従業者の予定人数 無償ボランティア 5 名。L&L スタッフ 5 名。

受益対象者の範囲及び予定人数 貧困家庭の子ども 135 名とその家族。

収入見込み額 里親事業会費(事業費分) 2,065,500 円(里親事業会費の 85%)

支出見込み額

事業委託費	2,247,000 円
内訳 子ども達への支援(学費・学用品・制服等)	1,296,000 円
医療費	81,000 円
生活指導ミーティング	90,000 円
L&L 人件費	510,000 円
L&L の運営費(含、職業訓練、生活指導)	270,000 円

#### 2) 給食事業

##### 事業内容

現地の小学校で、栄養状態のよくない子ども達に栄養価の高い給食を提供し、栄養状態や健康面の改善を図ると共に、就学の意欲を高め、就学率の向上にも役立てる。

実施予定日時 通年(週 1 回の実施)

実施予定場所 フィリピン国南コタバト州ジェネラルサントス市内の 3 校

(1) P. Kindat Elementary School (以下、PKES)

(2) Sarif Mucsin Elementary School(以下、SMES)

(3) Bawing Elementary School(以下、BES)

実施形態 各小学校に事業委託して実施。校長を始め教師が、児童およびその親と協力して、調理、給仕、事業管理を行う。

従業者の予定人数

(1) PKES: 教師 15 名、及び無償ボランティア 3 名。

(2) SMES: 教師 8 名、及び無償ボランティア数名。

(3) BES:教師 14 名、及び無償ボランティア数名。

受益対象者の範囲及び予定人数

フィリピンの公的機関評価基準により、子供たちの健康状態を体重・身長で、「Severe(重度)」、「Moderate(中度)」、「Mild(軽度)」、「Normal(正常)」の4段階評価し、この内、重度と中度を給食受益対象者とする。各校の予定人数は、(1) PKES:80 名、(2)SMES:90 名、(3)BES:200 名

収入見込み額

(1)給食事業会費 178,500円 (¥6,000×35名×85%)

(2)給食事業寄付金 170,000円(¥200,000×85%)

収入合計(見込み額) 348,500円

支出見込み額

事業委託費 (食料費、光熱費、報告代を含む) 335,400円

PKES 83,400円 (7px80x40 + 90px40 + 600x3) PHP×3円/ PHP

SMES 91,800円 (7px90x40 + 90px40 + 600x3) PHP×3円/ PHP

BES 160,200円 (6px200x40 + 90px40 + 600x3) PHP×3円/ PHP

予備費 34,600円

支出合計(見込み額) 370,000円

### パヤタスごみ処分場周辺での支援活動

巨大なごみ山に隣接した居住区「ルパン パガゴ」では、高くそびえるごみ山からの自然発火による煙や有害ガスが立ち込め、周辺の小川にはどす黒い汚れた水が流れ込んでおり、住民に呼吸器系や消化器系の疾病が多い。また、同居住区にはゴミを拾って生活する人々が約2千人暮らしている。これらの人々は、安定した職業につくことが難しく、やむをえず、ごみを拾っている人が多い。

この居住区でも、もっともごみ山に近く環境の悪い第2地区(Phase 2)で、周辺住民を対象に、医療・栄養面を改善する医療支援事業と、ごみ拾いから脱却するための技術を身につける職業訓練事業、訓練で得た技術を収入につなげるフェアトレード支援事業を行う。

### 3) 医療支援事業

事業内容

パヤタスごみ処分場周辺で経済的に貧しい地域住民の健康を高めるために、以下の活動を、SALT と協力して行う。

a) 毎週土曜日の無料診療活動

b) 栄養不良児の栄養補給のための給食と母親のためのセミナーの開催

c) 無商標の安価な薬を売る薬局の運営 (当面土曜日の販売)

実施予定日時 通年

実施予定場所 フィリピン共和国マニラ首都圏ケソン市パヤタス地区ルパンパガゴ第2地区

実施形態

無料診療: センターで毎回一名の医師による診察

栄養プログラム: 軽度から重度までの生後6ヶ月から3歳未満の子供を対象に給食の提供と、母親を対象にした栄養や健康についてのセミナーの開催。

住民薬局: SALT 所属のコミュニティーヘルスワーカーでもある住民の女性による薬の販売。

食品薬品局の指導により、当面、無料診療の際の販売であるが、常時営業が可能な特別許可証の取得を目指す。

\*SALT はマニラと京都に本拠地のある日本人の NGO。1995 年に活動開始。1997 年より当法人と提携。

従業者の予定人数 医師 1 名、住民ヘルスワーカー (SALT) 3 名、現地スタッフ 2 名

受益対象者の範囲及び人数

ケソン市パヤタス第 2 地区の住民およそ 1 5 0 0 世帯 (人口約 6 0 0 0 人)

収入見込み額

医療支援事業会費 1 2 7 , 5 0 0 円 (¥6000×25 名×85%)

医療支援事業寄付金 5 9 , 5 0 0 円 (¥70,000×85%)

収入合計 (見込み額) 1 8 7 , 0 0 0 円

支出見込み額

事業費

巡回医療 (医師への謝礼) 1,000PHP/回×52 回×3 円/PHP= 1 5 6 , 0 0 0 円

緊急医療支援 500PHP/月×12 ヶ月×3 円/PHP= 1 8 , 0 0 0 円

栄養改善 (乳幼児の食料費) 8,000PHP/月×9 ヶ月×3 円/PHP= 2 1 6 , 0 0 0 円

クッキングコンテスト費用 1,000PHP/回×3 回×3 円/PHP= 9 , 0 0 0 円

エリアコーディネータ人件費 9,000PHP/月×13 ヶ月×3 円/PHP= 3 5 1 , 0 0 0 円

ケアセンター賃貸料 1,500PHP/月×12 ヶ月×3 円/PHP= 5 4 , 0 0 0 円

予備費 6 6 , 0 0 0 円

支出合計 (見込み額) 8 7 0 , 0 0 0 円

#### 4) 職業訓練事業

事業内容

パヤタスごみ処分場周辺の経済的に貧しい地域住民を対象に、危険なごみ捨て場で働かなくても、経済的に自立できるように、必要な技術を身につけるための職業訓練を行う。

実施予定日時

ドレスメーカー (週 2 回×12 週間)

ぬいぐるみづくり (週 2 回×12 週間)

ハンディクラフトづくり (1 回 1 日から 2 日間×12 回)

実施予定場所 フィリピン共和国マニラ首都圏ケソン市パヤタス地区ルパンパガゴ第 2 地区

実施形態 既に訓練を受けた技能修得者が、現地スタッフとともに、ニーズの高い実用的な課目について、ワークショップを行い、技術指導する。

従業者の予定人数 無償ボランティア 5 名、現地スタッフ 2 名、既に訓練を受けた技能修得者 3 名。

受益対象者の範囲及び予定人数 パヤタスに住む女性 4 0 名とその家族。

特に、高校中退の女子、シングルマザー、スカベンジャーの女性、貧困家庭の女性を優先する。

収入見込み額

職業訓練事業会費 1 0 2 , 0 0 0 円 (¥6,000×20 名×0.85)

職業訓練事業寄付金 4 2 , 5 0 0 円 (¥50,000×0.85)

収入合計 (見込み額) 1 4 4 , 5 0 0 円

支出見込み額

ワークショップ開催費用 (謝礼、材料費、支援米代) 1 3 5 , 0 0 0 円

訓練所賃貸料 8 4 , 0 0 0 円

機材購入費 7 5 , 0 0 0 円

予備費 1 1 1 , 0 0 0 円

支出合計 (見込み額) 4 0 5 , 0 0 0 円

## 5) フェアトレード支援事業

### 事業内容

自立のための作業所で製作した販売品を、マニラや日本において、バザー、通信販売、委託販売を通し販売をする。マニラでの販売にはパヤタスの女性達も参加し、販売技術を学んだり、販売に耐えうる製品作りに必要な情報を得る。この売上げは、女性達に現金収入として還元されるとともに、作業所の運営費などになる。また、他のNGO団体が製作した支援のための販売品を購入し、上記の方法により販売する。これにより、作業所の女性達の経済的な自立を支援する。

実施予定日時 通年

実施予定場所 パヤタスの作業所、マニラおよび日本のイベントや学園祭でのバザー、インターネットによる通信販売、店舗等への委託販売等。

実施形態 当法人の主催事業。

従業者の予定人数 現地スタッフ2名、無償ボランティア10名、作業所の女性達15名。

### 収入見込み額

売上金(日本)	1,500,000円
売上金(他団体への直送分)	540,000円(180000PHP×3円/PHP)
売上金(マニラ分)	1,260,000円(420000PHP×3円/PHP)
収入合計(見込み額)	3,300,000円

この他、利息として、1,000円の収入見込み。

### 支出見込み額

製作者への労賃	1,200,000円(400000PHP×3円/PHP)
材料費	750,000円(250000PHP×3円/PHP)
雑費(含、梱包)	180,000円(60000PHP×3円/PHP)
日本での事業費	50,000円
支出合計(見込み額)	2,180,000円

この他、管理費(人件費、交通費、商品送付代等)として、1,406,200円が必要。

## 山村サンイシロでの支援活動

リザール州アンティポロ市の北30kmにあるサンイシロは、ドゥマガット族などの先住民が多数住む山村部の農村である。開発から取り残されたこの村では、電気も水もなく、医療も不足している。また、識字率の低さや教育が不十分であるため、住民の多くは強い劣等感を感じている。主な収入は農業で得ているが、収穫期直前には食料が底を付くことが多く、現金収入の確保のためしばしば山で木の不当伐採が行われる。先住民が誇りを持って生きられるように、山村教育支援を行っている。

### 5) 山村教育支援事業

#### 事業内容

開発から取り残された少数民族が多数住む山村サンイシロで、住民の教育水準や生活水準向上を支援するために、

- 住民組織 MASAKA が運営するプレスクール(幼稚園)の運営を支援する。
- 先住民の子どもが小学校やハイスクールに通学できるよう奨学金を提供する。
- 果樹やマホガニーなどの樹木を家庭単位で植樹する。
- 収穫期直前に食料が不足するなどの地域の課題とその解決法について、調査、模索する。

実施予定日時 通年

実施予定場所 フィリピン共和国リザール州アンティポロ市サンイシロ地区

実施形態 住民組織 MASAKA \* を通じて支援する。

\*MASAKA はサンイシロ周辺に住む少数民族ドゥマガット族を主体とした住民組織、1998年に活動開始。90世帯が加盟。1999年より当法人と定期的な会合を持つ。

従業者の予定人数 無償ボランティア5名。現地スタッフ1名、MASAKAのスタッフ5名。  
プレスクール教師1~2名。

受益対象者の範囲及び予定人数 サンイシロ周辺に住むドゥマガット族を中心に170家族。

#### 収入見込み額

山村教育事業会費	132,500円	(¥6000×25名×0.85)
山村教育事業寄付金	42,500円	(¥50,000×0.85)
収入合計(見込み額)	175,000円	

#### 支出見込み額

プレスクール支援	87,000円	((2,300PHP×7ヶ月+4,300PHP×3ヶ月)×3円/PHP)
奨学金支援	82,500円	(27,500PHP×3円/PHP)
家庭単位植林	10,500円	(350PHP×10家族×3円/PHP)
予備費	120,000円	(追加の教師の給与、調査&試行事業費)
支出合計(見込み額)	300,000円	

## 相互理解を促進する活動

### 6) 国際理解教育事業

#### 事業内容

フィリピンやアジアで厳しい生活環境にある人々の生活、児童労働の実情などについて多くの人に知って貰い、市民の国際協力に対する理解を深めるために、日本の小中高生や一般市民、団体を対象に、以下の活動を行う。

- a. 教育者や親子を対象とした国際理解教育講座の開催
- b. 講演・ワークショップの開催(学校数校、国際協力イベント等)
- c. タガログ語講座(毎週土曜日開催、年30回)
- d. パヤタスのスカベンジャーを紹介した映画の上映会と現地スタッフ講演会の開催(9月の予定)
- e. 国際理解教育を扱った授業の実例集の発行
- f. 事務局への訪問者受入れ(平均10名程度/月)
- g. 教材貸出し(児童労働ビデオ、写真展「生きていくために」用写真、オリジナル教材等)
- h. 現地の子ども達へのカードの送付
- i. フィリピンの厳しい生活環境にある人々への生活物資の送付、提供

実施予定日時 通年。

実施予定場所 名古屋国際センター、NPO プラザなごや、東海地区の学校数校等。

実施形態 当法人の主催事業。名古屋国際センターおよび名古屋NGOセンター等の後援を得て実施する。

従業者の予定人数 事務局スタッフ1名、現地スタッフ1名、無償ボランティア10名。

受益対象者の範囲及び予定人数

会員および一般市民 200名。日本、およびフィリピンの小(中)学生 各100名程度

#### 収入見込み額

イベント参加費	60,000円
タガログ語講座受講料	40,000円
助成金	1,100,000円
物資寄付金	150,000円
カード寄付金	30,000円

収入合計(見込み額) 1,380,000円

#### 支出見込み額

ビデオ購入費	65,000円
機器購入費	200,000円
講師謝礼金	90,000円
講師交通費	100,000円
会場費	80,000円
フィルムレンタル料	405,000円
イベント通信費	160,000円
イベント印刷代	100,000円
カード送付&交流資金	40,000円
物資輸送費&購入費	150,000円

支出合計(見込み額) 1,390,000円

## 7) スタディツアー事業

事業内容 フィリピンで行われている支援事業や生活困窮者の人たちの現状を視察し、現地住民と参加者との交流を図るとともに、参加者の国際理解を増進する。

実施予定日時 年3回を予定。

実施予定場所 フィリピン共和国メトロマニラ首都圏、リサ-ル州、南コタバト州(ジェネラルサントス市を含む)

実施形態 当法人が企画、旅行代理店に委託して実施する。

従業者の予定人数 無償ボランティア5名、現地コーディネーター1名。

受益対象者の範囲及び予定人数 会員および一般市民 26名。

収入見込み額 ツアー参加料 3,500,000円(15万円×6名+13万円×20名)

支出見込み額

渡航費+宿泊費+交通費 2,242,000円

食費 198,000円

雑費、謝礼等 360,000円

支出合計(見込み額) 2,800,000円

この他、管理費(人件費、交通費、通信費等)として、499,200円が必要。

## (2) 収益事業

### 1) リサイクルバザー事業

事業内容 会員や一般市民から提供された不要品をフリーマーケット等で販売する。

実施予定日時 年に2回。

実施予定場所 フリーマーケットおよび東輪寺など、名古屋市内およびその周辺。

実施形態 ボランティアや会場提供者の協力を得て、実施。

従業者の予定人数 無償ボランティア10名。

収入見込み額

物品販売売上げ 200,000円

収入合計(見込み額) 200,000円

支出見込み額

フリーマーケット会場費 20,000円

支出合計(見込み額) 20,000円